

チャレンジ 京成バス 柏井線

レポート No.10 毎月第2土曜日発行

読売新聞ご愛読の皆様へ

京成バス〔株〕 船橋営業所
Y C 中山北部 久保新聞店

平素は読売新聞をご愛読いただき有難うございます。

バス運行について読売新聞愛読者様のメッセージ・ご意見は、〔住所 お名前〕を記入の上、下記へお寄せください。皆様からいただいた投稿は、後日 まとめて掲載致します。掲載にあたり、〔匿名〕をご希望の方は、お知らせください。

◎ はがき…読売センター中山北部 宛 ◎ FAX…050-1471-7957

〒273-0047 船橋市藤原 1-2-8 〔頂いた個人情報、レポート制作のみに使用し公開しません〕

…新年 明けまして おめでとうございます… (平成22年1月9日)

新ルートで運行している〔京成バス 柏井線〕は、地域に大きな希望を与えています。

- この地域に住んで30年、1番うれしかった事は、バスが運行したことです。……………北方町 S様
 - バスがなくなると、元の不便な状態に逆戻りしてしまう、皆さんに声をかけます。……………本北方 K様
 - 地域の皆さん、喜んで乗っていますよ。……………北方町 U様
 - 駅へ直結しているのが楽になりました。……………若宮 S様
- 近隣の企業2社が、バス車内の放送広告を契約しています、お聞きになりましたか。

21年12月15日 (平成21年度 市川市公共交通協議会) が開催されました。主な議題は、柏井線21年度運行実績、国交省助成金決定通知、事業の評価、地域の乗車啓蒙活動報告など。

発表された昨年4月～11月の運行実績は、乗車人数＝前年度比183.6% 運行収入＝前年度比140.1%。新ルートで運行して、今年度(22年3月まで)の運行実績は確実に伸びていることが報告されましたが、運行経費のすべてを賄うには一日2,000人の乗客を確保しなければ、赤字は解消できないことも判明しました。(国交省からの助成金は赤字の20%程度で、残りの赤字は京成バス(株)が負担します)

赤字が膨らめば、公共事業としていくら頑張っても、企業としては成り立たない。京成バス(株)では“合理化を図ったりして 経営努力をしている”と、聞いています。

地元の私達も、実験運行最後の年(22年4月～23年3月)を控え、京成と手を携えて 柏井線存続対策を整えなくてはなりません。地域がより便利になる為の対策はあります、一緒に考えましょう。

今年も読売新聞愛読者様のご投稿お待ちしております。

〔reporter Y.T.〕